

長善館と弥彦村

吉田町粟生津にある長善館は天保4年(1833)、鈴木文臺が38歳で始めた私塾です。文臺を初代として、惕軒・柿園・彦嶽の3代・4先生により、実証的な学問を中心にした教育が行われていました。



明治19年(1886)に中学校令が公布され、中学校も各地に建てられるようになると、長善館はしだいに学校としての役割を終え、明治45年(1912)80年の幕を閉じました。この間、千余人の人材を世に送り、政界・官界や地方発展に尽力した方々を数多く生み出しています。

長善館の門人の出身地をみると、地元粟生津近辺が断然多く、ほかに西蒲原・南蒲原・三島郡で過半数を占めています。数は少ないが、上越地方や他国出身者の名前も見えます。入学年齢は14・5歳、初歩的な学問を終えた人が入塾する例が多かったようです。

長善館に残された資料から、弥彦から学んだ人として、次の41人の名前を読み取ることができました。

諸橋民之助 諸橋新一郎 石川佐平次 中川弥一郎 中川祥助 石川清四郎 中川五郎
(以上大戸) 釈戒珠 釈密雲(以上矢作) 釈法潤(以上井田) 高島徳太郎 高島誠一郎 高島徳次郎 高島良宣(以上山崎) 皆川熊太郎(荻野) 松宮助次(走出) 荒川磐松 高橋武太郎 行田保三郎 鈴木雷太郎 伊藤真広 江村秀治 高橋甚蔵 岡平三郎 林部清蔵(以上弥彦) 藤原三作 藤原悌助 藤原俊二郎(上泉) 山崎岐貞(村山) 釈智観 田中熊之助 鈴木文平 釈芳善 釈賢了 鈴木三平 富田彦助 釈大圓 釈専定 本間銀平 桜井省吾 桜井勤蔵(以上麓)

長善館の地には現在、吉田町資料館が建てられ、関係する資料が展示されています。

(資料提供：吉田町資料館館長 吉田勝さん)